



全国学力・学習状況調査

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等（教育委員会、学校法人等）の協力を得て実施するものです。

平成21年度調査実施日：4月21日（火）

- ❖ **調査の目的**
- ◇国が、全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育の結果を検証し、改善を図る
 - ◇各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育の結果を把握し、改善を図る
 - ◇各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善等に役立てる

❖ **調査対象** 小学校第6学年、中学校第3学年の原則として全児童生徒

❖ **調査内容** ①教科に関する調査（国語，算数・数学）

主として「知識」に関する問題

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能
など

主として「活用」に関する問題

- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力
など

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
(例) 国語の勉強は好きですか、授業の内容はどの程度分かりますか、一日にテレビを見る時間、読書時間、勉強時間の状況など

学校に対する調査

指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査
(例) 学力向上や学習の定着に向けた取組、習熟度別少人数指導、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など

❖ **時間割** ※問題冊子等の配付、解答用紙の回収等については、各時限中、解答時間の前後で行う。

◎小学校

1時限目 (45分)	2時限目 (45分)	3時限目 (45分)	
国語A (20分) 算数A (20分)	国語B (40分)	算数B (40分)	児童質問紙 (20分)

※児童質問紙は、4時限目以降に、各学校の状況に応じて実施。

◎中学校

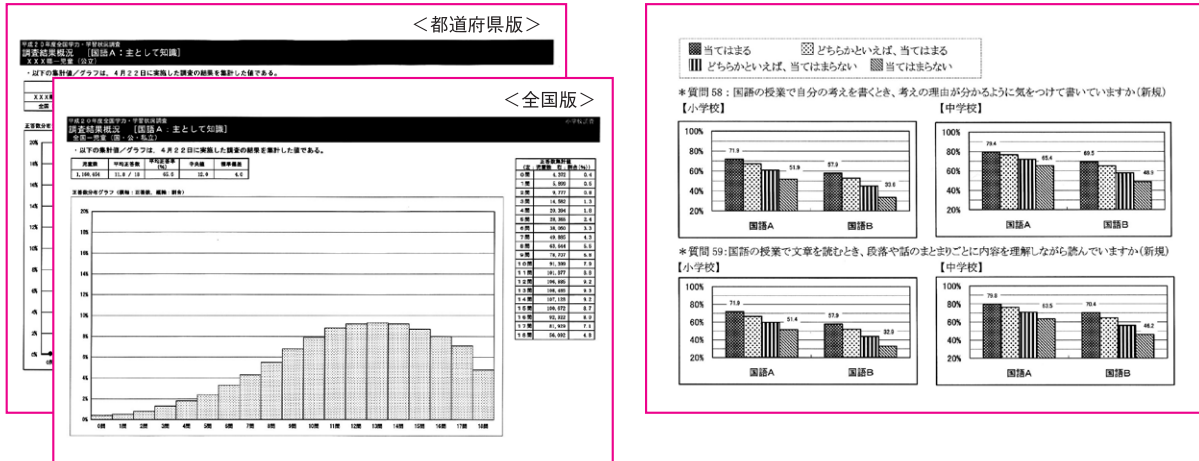
1時限目 (50分)	2時限目 (50分)	3時限目 (50分)	4時限目 (50分)	
国語A (45分)	国語B (45分)	数学A (45分)	数学B (45分)	生徒質問紙 (20分)

※生徒質問紙は、5時限目以降に、各学校の状況に応じて実施。

国による公表

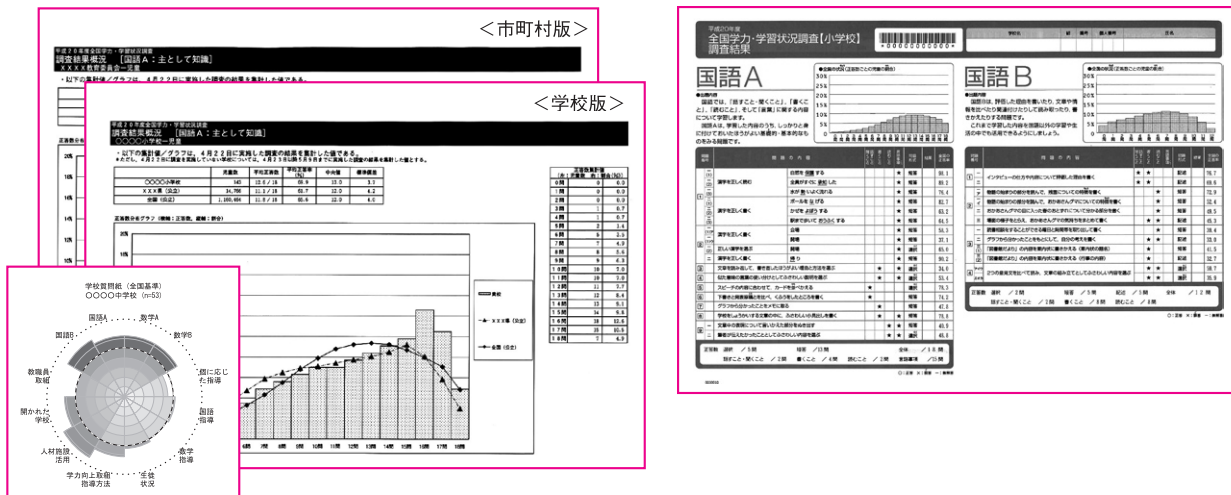
- ◇国全体、各都道府県、地域の規模等における調査結果を公表
- ◇児童生徒の学習習慣や生活習慣、学校における指導方法や教育条件の整備状況等と学力の相関関係を分析、公表

(公表する調査結果のイメージ)



教育委員会、学校等に各々の調査結果を提供

- ◇都道府県教育委員会、市町村教育委員会、学校に各々の調査結果を提供
 - ◇児童生徒に対しては、設問ごとの正答や誤答の状況などが分かる個人票を提供（答えは返却されない）
- (提供する調査結果のイメージ)



- ◇調査結果は、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要
- ◇学校間の序列化や過度な競争につながらないように配慮し、市町村や学校の公表はそれぞれの判断に委ねる（市町村教育委員会や学校は自らの結果を保護者等に説明することが可能）

※調査結果は、入試の資料として用いられるものではない。

調査結果の活用

調査結果を積極的に活用し、児童生徒の学力や学習状況を多面的に把握・分析するとともに、教育の改善に向けた計画的な取組を実施

※ 国において教育の改善に向けた全国的な取組を推進

◇調査結果の専門的な分析等を行い、教育指導や教育施策の改善に取り組む

例) ・学習指導要領の改訂、各種施策の成果の検証・改善 など

◇教育委員会や学校の意欲的な改善の取組に対して必要な支援等を行う

例) ・教員の配置等への支援、改善の取組に役立つ情報の提供、各種施策を活用した支援 など

※ 教育委員会において域内の教育の改善に向けた取組を推進

◇調査結果を多面的に分析し、保護者や地域と連携しながら、教育指導や教育施策の改善に取り組む

◇学校の改善に向けた取組等に対して必要な支援等を行う

例) ・教員の配置等の工夫、教員研修の充実、教育指導等の改善のための資料の作成 など

※ 学校において教育指導等の改善に向けた取組を推進

◇児童生徒の学力や学習状況を多面的に分析し、教育指導の成果や取り組むべき課題を把握する

◇学校の教育指導、児童生徒一人一人の学習状況等の改善に向けて計画的に取り組む

例) ・明らかになった課題を踏まえた、全学年・全教科における授業改善の取組
・児童生徒の学習状況等の改善を図るため、個に応じた指導等を実施
・教育指導の改善のための校内研修の実施 など

◇保護者や地域と連携しながら、学習習慣や生活習慣等の改善に取り組む

例) ・家庭における学習習慣や生活習慣の確立に向けて保護者に働きかけ
・地域のボランティア等の協力による、放課後等における補充学習の実施 など

※ 教育における継続的な 検証改善サイクル(PDCAサイクル) を確立



P: Plan (計画)
D: Do (実行)
C: Check (評価・検証)
A: Action (改善)